

元気UP通信

厚木市立荻野中学校
心の教室
平成30年5月

「跳びはねる理由」の著者は
草木の緑の色は命の色と

吉岡

5月の開室日

○：開室日 SC：市川さん

月	火	水	木	金	土	日
	1	2 ○	3	4	5	6
7 ○	8	9 ○	10 SC	11 ○	12	13
14 ○	15	16 ○	17 SC	18 ○	19	20
21	22	23 ○	24 SC	25 ○	26	27
28 ○	29	30 ○	31			

木々の緑は命の色

うぶ毛だった山の緑がだんだん濃くなり美しい季節になりました。この季節になると決まって思い出す言葉があります。「自閉症の僕が跳びはねる理由」を書いた東田直樹さんの次のようなことばです。(以下「自閉症の僕が跳びはねる理由」から抜粋)

— (略) みんなが緑を見て思うことは、緑色の木や草花を見て、その美しさに感動することだと思います。しかし、僕たちの緑は、自分の命と同じくらい大切なものなのです。(略) 緑と一緒にいるだけで、体中から元気がわいてくるのです。人にどれだけ否定されても、緑はぎゅっと僕たちの心を抱きしめてくれます。目で見える緑は、草や木の命です。命の色が緑なのです。—

東田さんが体全体で感じる、まるで異次元のような感受性と、そこから述べられる草木の緑の意味に衝撃を受けました。文章にされなければ理解できなかったと思います。

木々や草花を見てきれいだなと感じた時にこのことばを思い出してもらえたらうれしいです。